

令和8年度

道路維持修繕事業

大歳1号線道路修繕工事

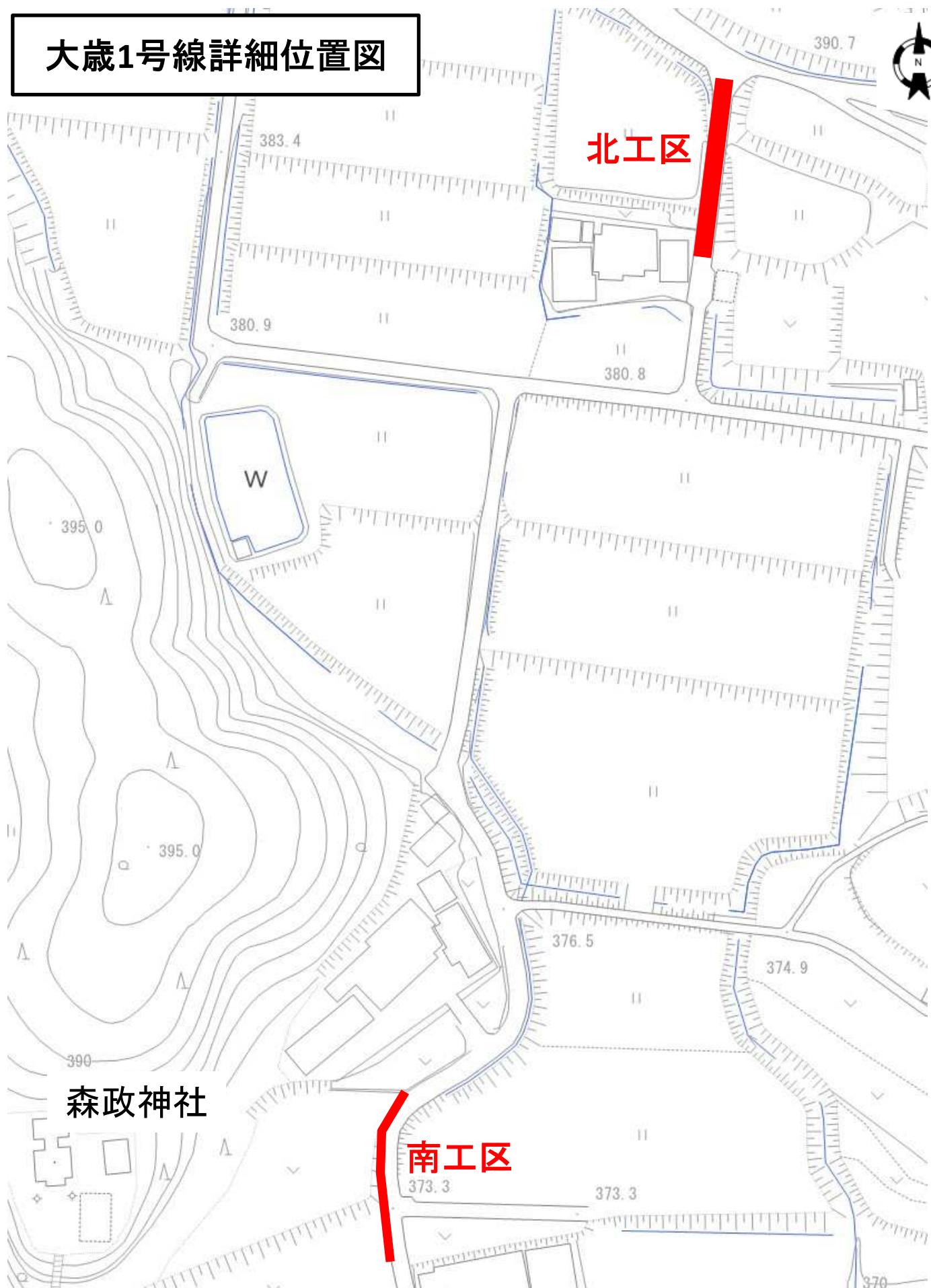
仕様書

施 工 場 所 東広島市福富町上竹仁

大歳1号線道路修繕工事 位置図



大歳1号線詳細位置図



特 記 仕 様 書

(大歳1号線道路修繕工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任（監理）技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等 週休2日
12. 建設副産物の取り扱いについて
13. 猛暑時間の施工回避
14. 猛暑日等を考慮した工期延長について
15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 溶融スラグを利用した資材の使用

第3章 施工条件

1. 工程
 - (1) 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査
2. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
3. 盛土・埋戻土
 - (1) 購入土（搬入）（建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土）
4. 建設副産物
 - (1) 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））
 - (2) コンクリート殻（無筋）（搬出）
 - (3) アスファルト殻（搬出）

第4章 施工管理

1. 出来形管理
 - (1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物

第5章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 暗渠排水の有無（農地）
5. 工事の確認（農地）

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

- ・道路土工、構造物撤去工、仮設工
- ・排水構造物工
- ・舗装工

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版」第1編 1-1-1-23第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面（写し）を提出するものとし、更新手続き（許可内容が同じもの）の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
- (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyoushoushisutemu2.html>

- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたとき

は、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等 週休2日

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

- (1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要

する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

13. 猛暑時間の施工回避

1 本工事は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を発注者と協議し設定できる工事である。

2 実施方法は次のとおりとする。

(1) 内容

ア 受注者は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を監督職員と協議し設定できる。

イ 作業時間を短縮した場合は、短縮時間に応じて、工期を延長することができるものとする。

ウ 工事における現地の立会等については、監督職員の勤務時間に合わせるものとする。

エ 対象期間は、6月1日から9月30日までとする。

(2) 工期延長日数の算出方法

工期の延長日数^{※1}(日)＝短縮時間(時間)×対象期間^{※2}(日)÷8(時間)

なお、猛暑日等による作業不能日とは、別に考慮できるものとする。

※1 小数第1位を切り上げるものとする。

※2 現場閉所日を含む。

3 作業時間の変更に伴う工事費の増額については、設計変更の対象としない。

14. 猛暑日等を考慮した工期延長について

1 本工事は、工期に「猛暑日等による作業不能日」として、休日(土日、祝日、年末年始休暇及び夏期休暇)、降雨降雪日及び猛暑日日数を31日見込んでいる。

「猛暑日等による作業不能日」＝施工に必要な実日数×雨休率

雨休率(休日、降雨降雪日及び猛暑日日数による作業不能日を見込むための係数)： 0.78

雨休率に見込んでいる作業不能日は、次のとおりである。(過去5年間の気象庁及び環境省のデータより年間の平均発生日数を算出)

(1) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日： 31日/年

(2) 8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数： 5日/年

2 ・著しい悪天候や気象状況より「猛暑日等による作業不能日」が当初見込んでいる日数と著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は監督職員へ工期の延長変更を協議することができる。

・受注者は、協議の際に気象庁及び環境省の計測データ等を監督職員へ提出すること。計測データは、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所及び環境省が公表している観測地点を用いることを標準とする。

なお、提出する必要がある様式「猛暑日等による作業不能日算出表」は「広島県の調達情報HP>公共工事等の情報_様式集>建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

・費用は、工期延長日数に応じて「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算」(土木工事標準積算基準書(共通編)第Ⅰ編総則 第9章)に基づき増加費用を積算し、変更契約において計上する。

15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

1 猛暑による厳しい環境下での現場作業[※]が見込まれる工事を対象とする。

※WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で、連続1時間以上又は1日4時間を超える作業

2 受注者は、熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に、迅速かつ的確な判断ができるよう、「緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先や所在地」及び「作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等の熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順」などを施工計画書の「緊急時の体制及び対応」項目に記載するとともに、工事関係者へ周知すること。

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	

3. 熔融スラグを利用した資材の使用

1. 熔融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する熔融スラグ（以下「熔融スラグ」という。）を利用した資材を使用するよう努めるものとする。熔融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「熔融スラグの有効利用促進等に関する方針」「熔融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。

2. 品質管理及び確認

1. で示したもののほか、熔融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」及び広島版「施工管理基準(令和7年8月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3. 再生加熱アスファルト混合物への使用

熔融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書（令和7年8月）」の「1-1-2-16 環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

4. 適合規格

熔融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」に記載の適合規格（「2-2-3-1 一般事項 1.」）ではなく、「JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を熔融固化したコンクリート用熔融スラグ骨材」を適用するものとする。

第3章 施工条件

1. 工程

(1) 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	埋蔵文化財調査
調査時期	排水路構造物床掘完了後（南工区）
調査期間	出土文化財管理センターの判断による

2. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から9日間（2人／日）を見込んでいます。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

3. 盛土・埋戻土

(1) 購入土(搬入) (建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土)

本工事では、 50m³(ほぐし) の土砂購入を見込んでいます。

① 当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費(工場渡し)の合計が最も経済的になるものを見込んでいます。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用(単価)は変更しない。

② ①により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督職員と協議すること。

③ 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を

実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。

4. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

砂・砂質土・礫質土

(名称) 大地リサイクルセンター
(所在地) 東広島市福富町上戸野1701
(運搬距離) 5.0 km

(2) コンクリート殻(無筋)(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻(無筋)は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 13.7 km を見込んでいる。

(3) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 13.7 km を見込んでいる。

第4章 施工管理

1. 出来形管理

(1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物

本工事において、路面に天端が接する構造物の出来高管理は下記のとおり行うこと。なお、下記以外の項目については、広島県制定「土木工事施工管理基準(令和7年8月)」に基づいて実施しなければならない。

工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
表層工	基準高さ▽	±30	40m毎に1箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。		北工区
道路面に天端が接する構造物(コンクリートブロック工、コンクリート擁壁工、側溝工等)	基準高さ▽	±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		北工区

第5章 その他

1. 工事関係書類

(1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。

(2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和7年8月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 暗渠排水の有無（農地）

現場作業着手前に、当該農地の既設暗渠排水の有無を確認すること。既設暗渠排水がある場合は、位置及び現在の排水機能について地権者等による立会確認を行うこと。

5. 工事の確認（農地）

当該農地の施工箇所及び仮設箇所、作業ヤード等は、現場作業完了後に地権者等による立会確認を行うこと。また、確認結果を監督職員に提出すること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
大歳1号線（北工区）		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	土砂 上記以外(小規模) 標準	m3		1	レベル4
排水構造物工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り	土砂	式		1	レベル4
埋戻し	土砂	式		1	レベル4
処理土		m3		20	レベル4
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		20	レベル4
残土等処分	砂・砂質土・礫質土	m3		20	レベル4
側溝工		式		1	レベル3
プレキャストU型側溝	落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種 300A[300×300×2000]	m		67	レベル4
側溝蓋	落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種ふた 300[412×95×500]	枚		20	レベル4
間詰コンクリート		式		1	レベル4
舗装工		式		1	レベル2
舗装復旧工		式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
不陸整正	補足材料無し	m2		106	レベル4
上層路盤	RM-30 t=10cm	m2		21	レベル4
表層	再生密粒度アスファルト混合物（13） t=4cm	m2		127	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3		10	レベル4
舗装版切断	アスファルト舗装版	式		1	レベル4
舗装版破砕	アスファルト舗装版	m2		130	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし	m3		10	レベル4
殻処分	コンクリート塊（無筋）	t		24	レベル4
殻運搬	舗装版破砕	m3		5	レベル4
殻処分	アスファルト殻	t		12	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
水替工		式		1	レベル3
ポンプ排水	ポンプ設置・撤去含む	式		1	レベル4
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		8	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
大歳1号線（南工区）		式		1	レベル1
排水構造物工		式		1	レベル2
法面整形工		式		1	レベル3
法面整形(盛土部)	盛土部 法面締固め無し	m2		10	レベル4
作業土工		式		1	レベル3
床掘り	土砂	式		1	レベル4
埋戻し	土砂	式		1	レベル4
処理土		m3		30	レベル4
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		30	レベル4
残土等処分	砂・砂質土・礫質土	m3		30	レベル4
側溝工		式		1	レベル3
プレキャストU型側溝	落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種 300A[300×300×2000]	m		42	レベル4
側溝蓋	落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種ふた 300[412×95×500]	枚		9	レベル4
現場打集水桝工	18-8-20BB RC-40 t=15cm	箇所		1	レベル4
現場打水路工	18-8-20BB RC-40 t=15cm	箇所		1	レベル4
水路補強コンクリート	18-8-20BB	箇所		1	レベル4
舗装工		式		1	レベル2
舗装復旧工		式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
上層路盤	RM-30 t=10cm	m2		22	レベル4
表層	再生密粒度アスファルト混合物（13） t=4cm	m2		22	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3		7	レベル4
舗装版切断	アスファルト舗装版	式		1	レベル4
舗装版破碎	アスファルト舗装版	m2		22	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし	m3		7	レベル4
殻処分	コンクリート塊（無筋）	t		17	レベル4
殻運搬	舗装版破碎	m3		1	レベル4
殻処分	アスファルト殻	t		3	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
水替工		式		1	レベル3
ポンプ排水	ポンプ設置・撤去含む	式		1	レベル4
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		10	レベル4
* * 直接工事費 * *					

工事数量総括表

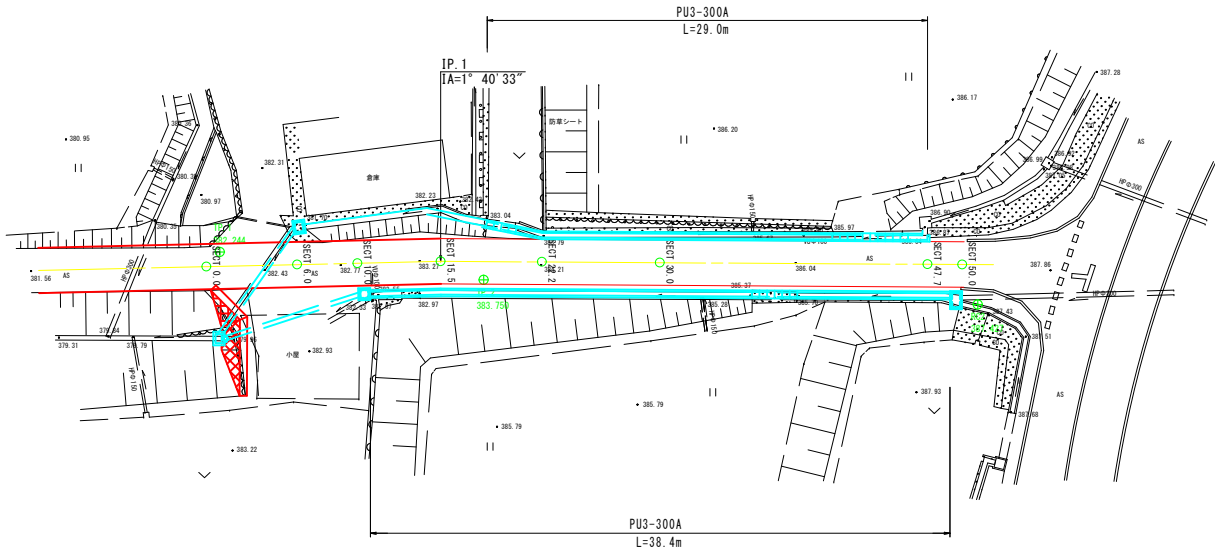
頁0 -0005

[illegible]

平面図

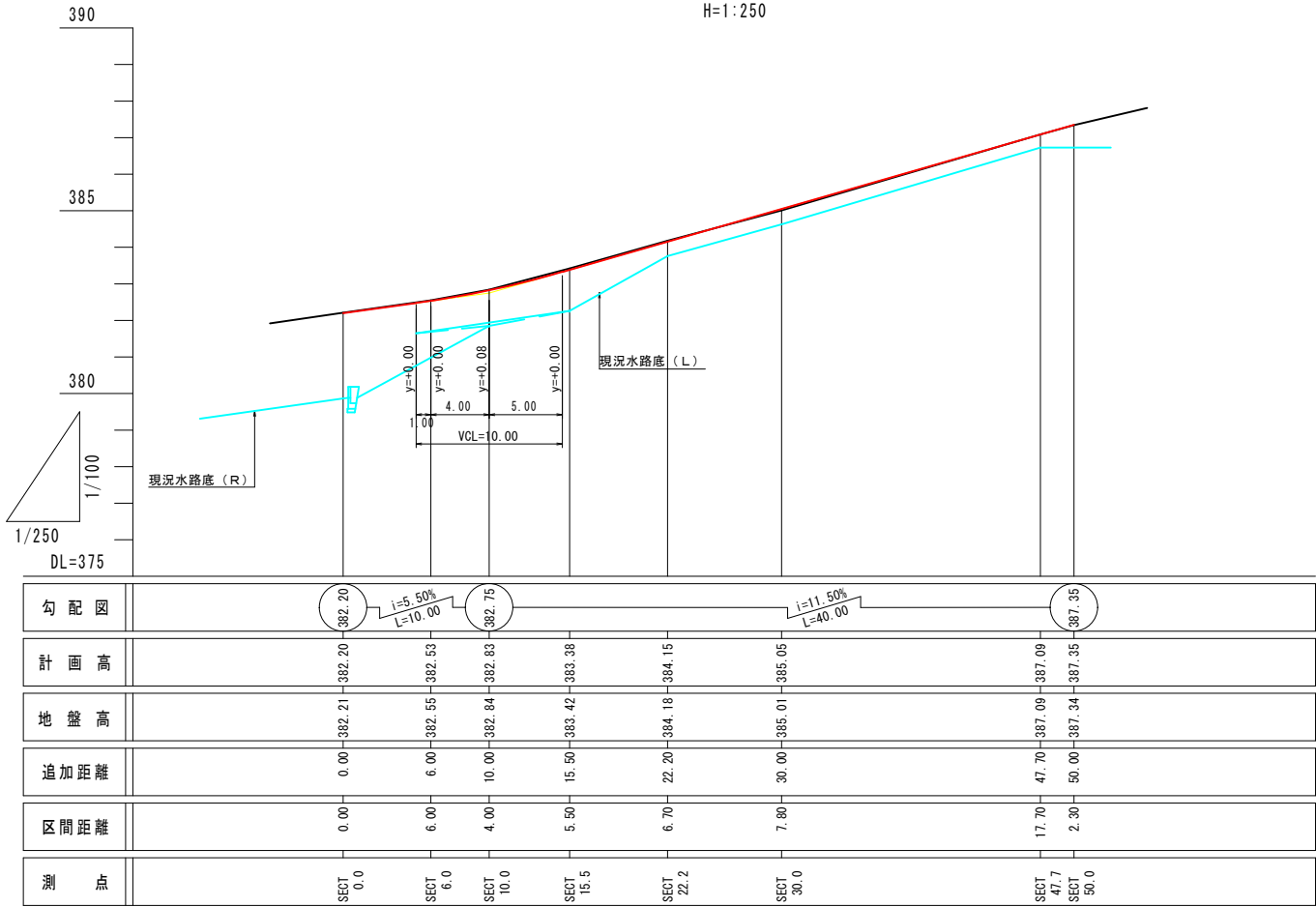
S=1:250

RC1
381.008
⑥



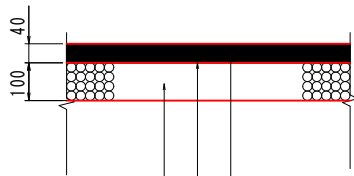
縦断面図

V=1:100
H=1:250



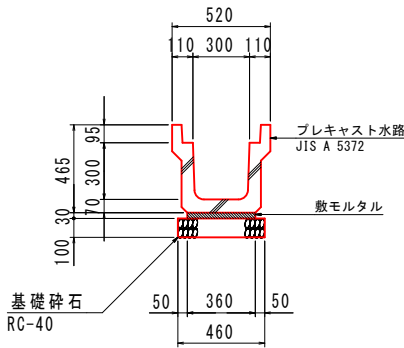
舗装構成 S=1:10

車道舗装：W1



表層：密粒度アスコン
プライムコート (PK-3) 1.2ℓ /m2
上層路盤：粒度調整碎石 (RM-30)

PU3-300A S=1:20



材料表			
名称	規格	数量	単位
側溝	300A (3種)	5.0	個
敷モルタル	1:3	0.108	m3
目地モルタル	1:3	0.002	m3
基礎砕石	RC-40 (t=100)	4.60	m2

座標一覧表

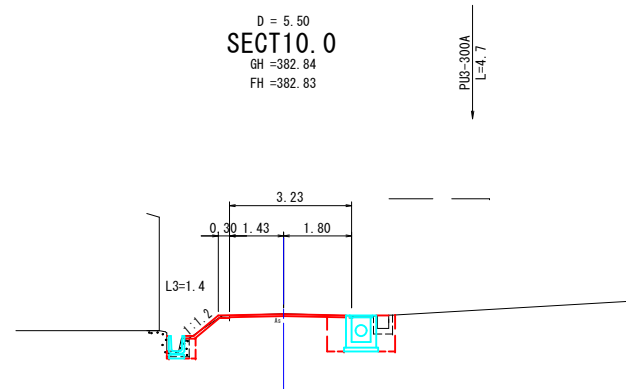
基準点成果表

測点	X	Y	H
RC1 (BM)	-162726.954	51545.573	381.008
RC2	-162656.023	51561.440	387.418

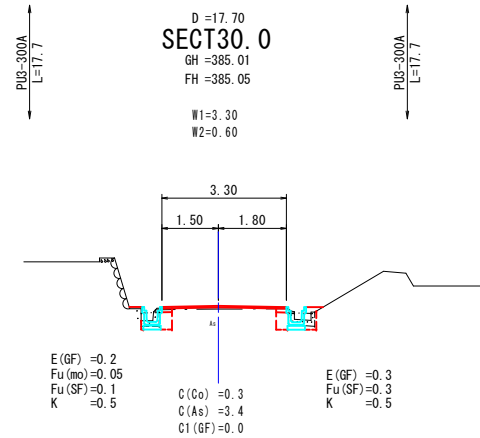
測点成果表

測点	X	Y
SECT 0.0	-162706.366	51552.739
SECT 6.0	-162700.395	51553.332
SECT10.0	-162696.415	51553.728
SECT15.5	-162690.942	51554.273
SECT22.2	-162684.297	51555.131
SECT30.0	-162676.561	51556.129
SECT47.7	-162659.007	51558.396
SECT50.0	-162656.726	51558.690

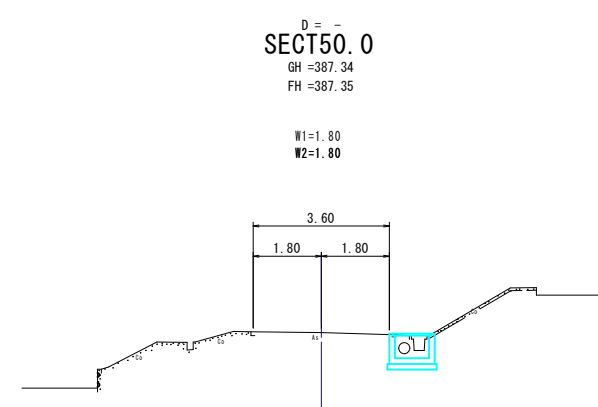
工事名	大蔵1号線道路修繕工事		
路線名等	大蔵1号線 (北工区)		
図面名	平面図、縦断面図、構造図		
作成年月日	令和 2 年 7 月		
縮尺	図示	図面番号	1 / 2
会社名			
事業者名	東広島市		



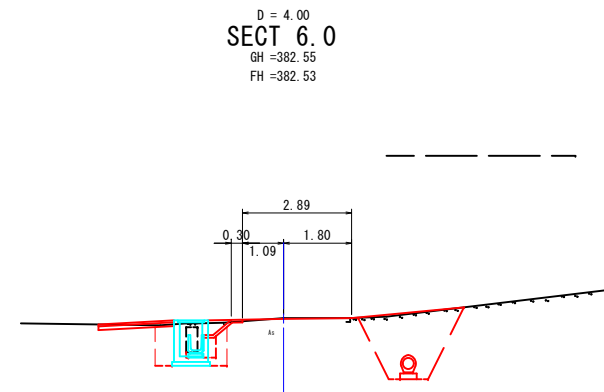
DL =378.00



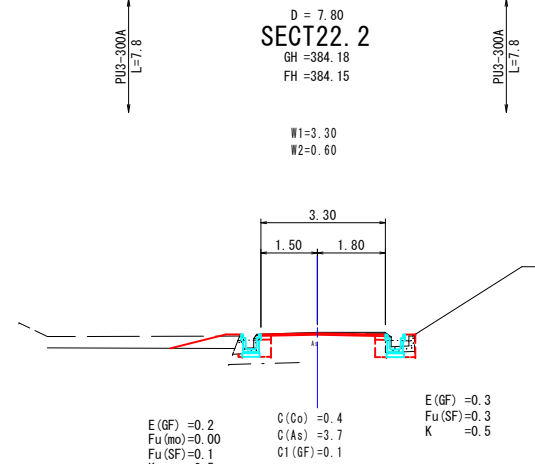
DL =380.00



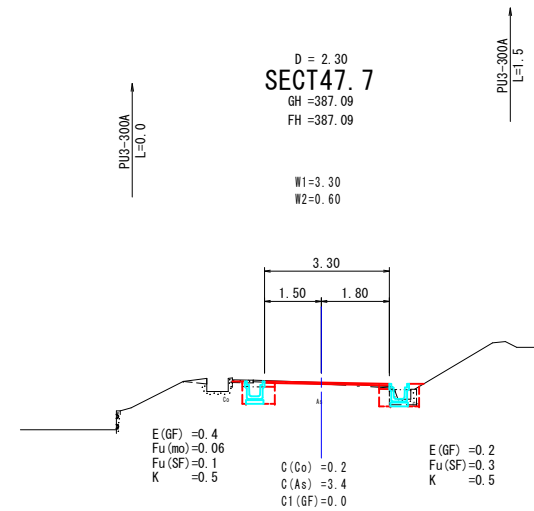
DL =383.00



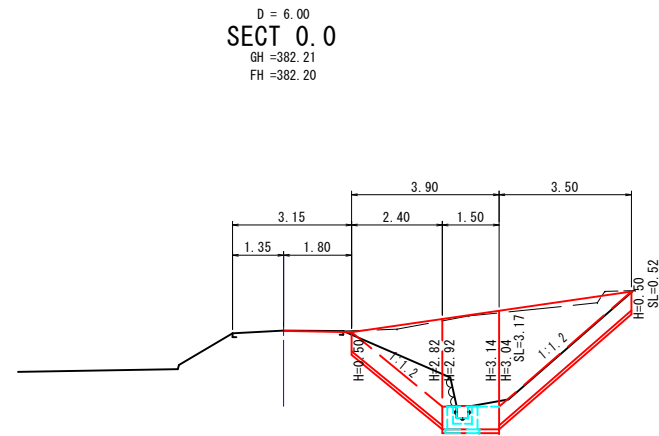
DL =378.00



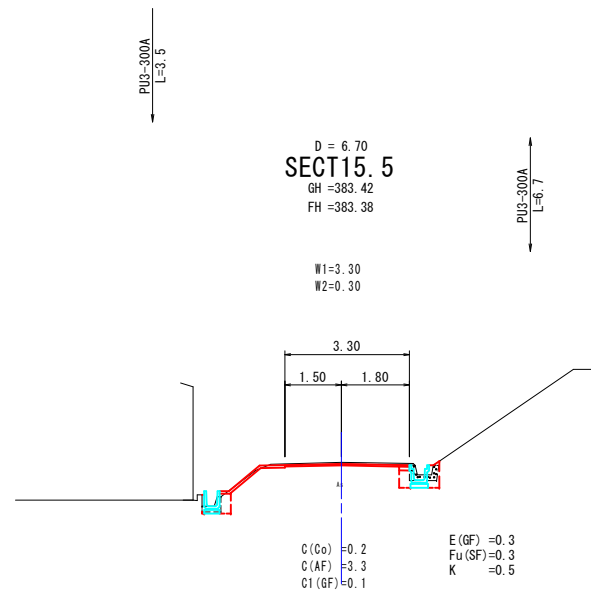
DL =380.00



DL =383.00



DL =378.00



DL =380.00

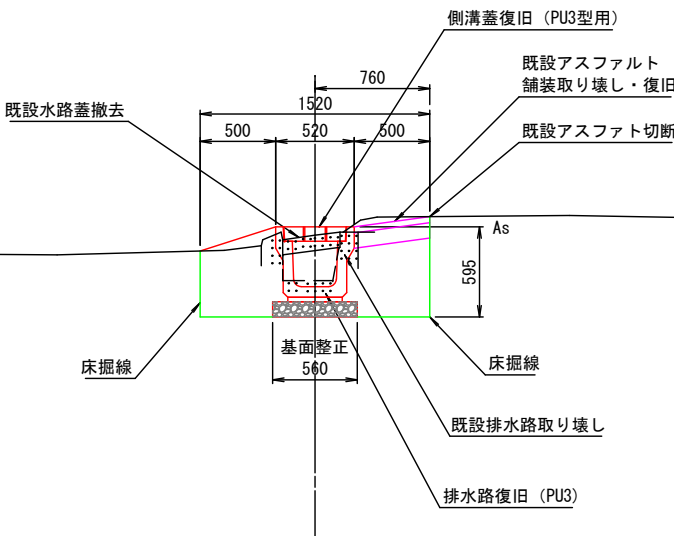
工事名	大蔵1号線道路修繕工事		
路線名等	大蔵1号線（北工区）		
図面名	横断面図		
作成年月日	令和 2 年 7 月		
縮尺	S=1:100	図面番号	2 / 2
会社名			
事業者名	東広島市		

標準横断図

S=1:25

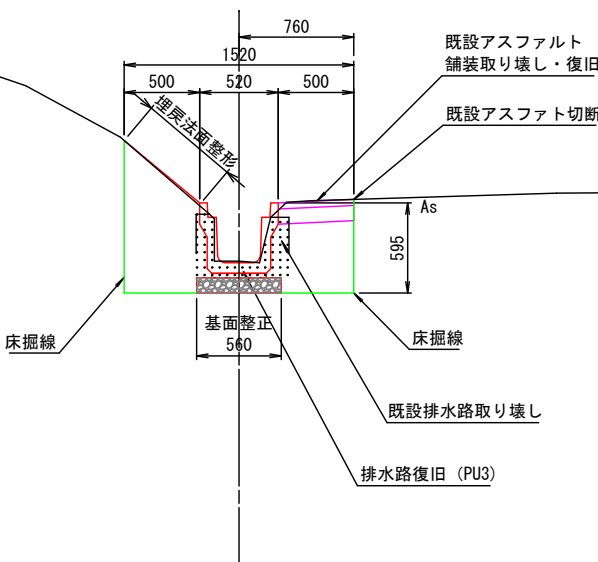
SP. 8

GH=375.56
FH=375.22



BC. 4

GH=373.85
FH=373.84

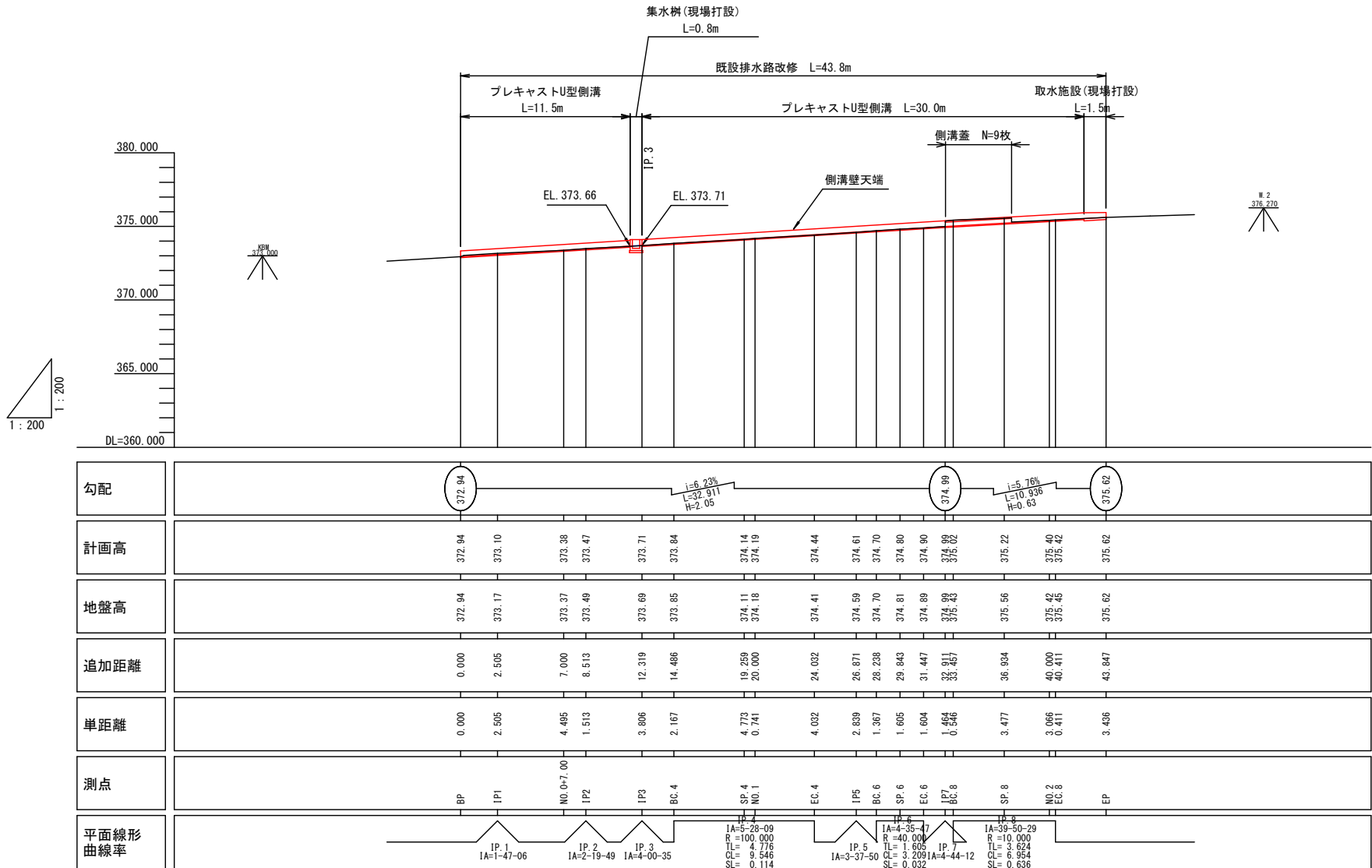


A3用紙出力時は50%縮小図面

図面番号	2 / 7	縮尺	S=1:25
工 種			
種 別	標 準 横 断 図	番 号	1 / 1
路線名	大歳1号線（南工区）		
工事箇所	東広島市福富町上竹仁		
東広島市			

縦断図

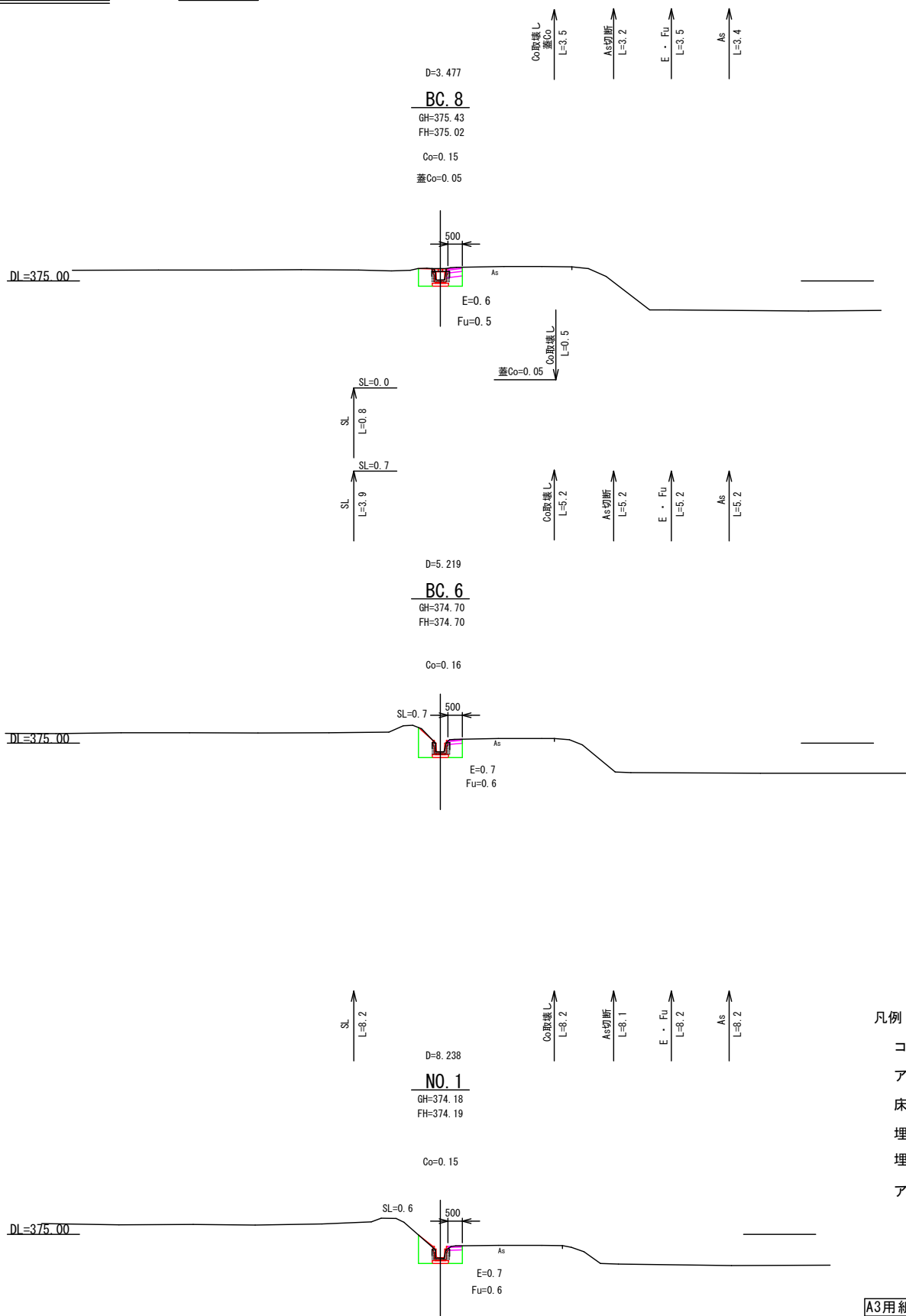
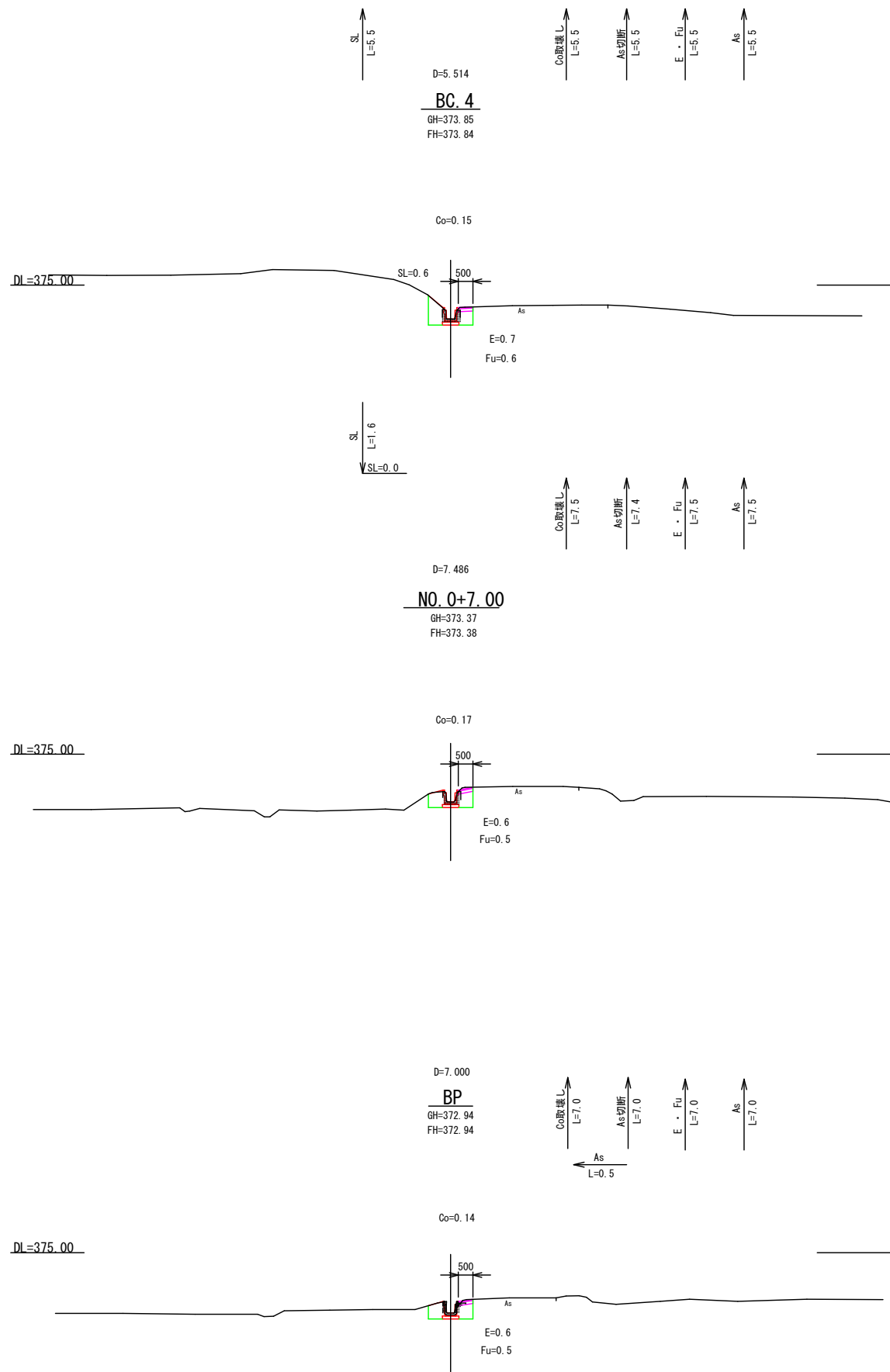
S=1:200



A3用紙出力時は50%縮小図面			
図面番号	3 / 7	縮尺	図 示
工 種			
種 別	縦 断 図	番 号	1 / 1
路線名	大歳1号線（南工区）		
工事箇所	東広島市福富町上竹仁		
東広島市			

横断図(1/2)

S=1:100



凡例

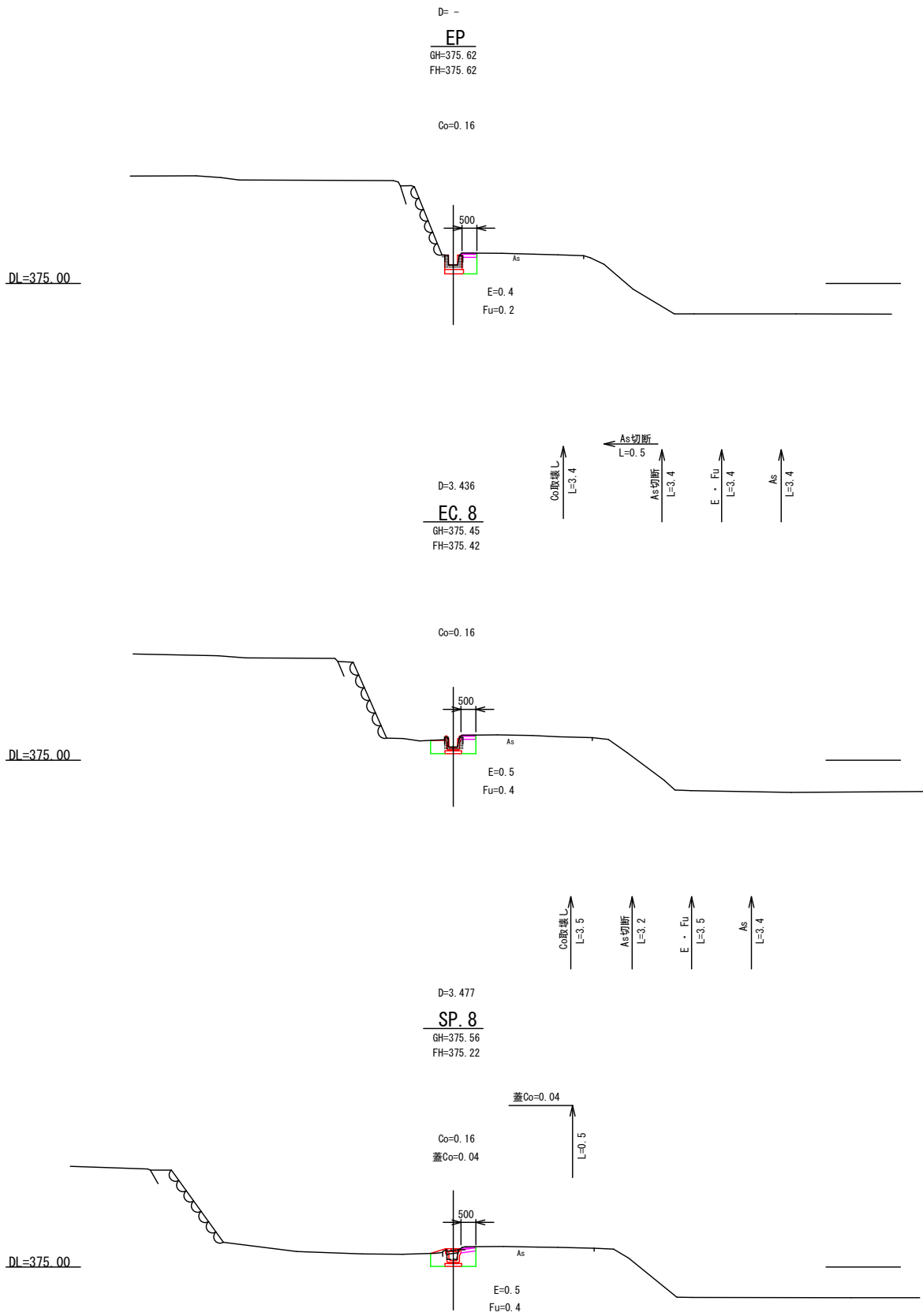
- コンクリート取壊し：Co取壊し
- アスファルト舗装切断：As切断
- 床掘(礫質土)：E
- 埋戻(D)：Fu
- 埋戻法面整形：SL
- アスファルト舗装：As

A3用紙出力時は50%縮小図面

図面番号	4 / 7	縮尺	S=1:100
工 種			
種 別	横 断 図 - 1	番 号	1 / 2
路線名	大蔵1号線（南工区）		
工事箇所	東広島市福富町上竹仁		
東広島市			

横断図(2/2)

S=1:100



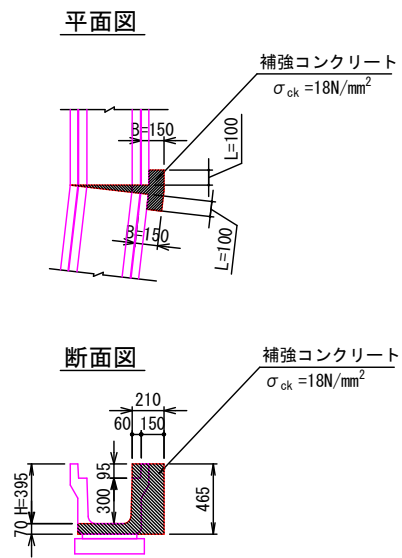
- 凡例
- コンクリート取壊し : Co取壊し
 - アスファルト舗装切断 : As切断
 - 床掘 (礫質土) : E
 - 埋戻 (D) : Fu
 - 埋戻法面整形 : SL
 - アスファルト舗装 : As

A3用紙出力時は50%縮小図面

図面番号	5 / 7	縮尺	S=1:100
工 種			
種 別	横 断 図 - 2	番 号	2 / 2
路線名	大歳1号線（南工区）		
工事箇所	東広島市福富町上竹仁		
東広島市			

側溝接続部(屈折箇所)詳細図 S=1:25

注) 屈折箇所の開きが5cm以上となる接続部に適用する。

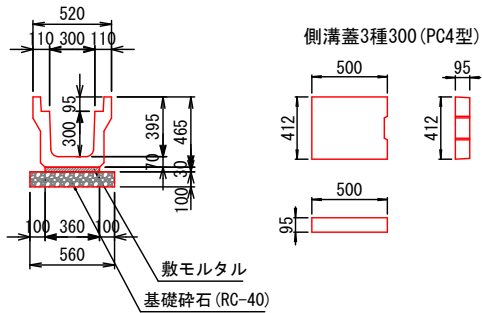


注) H≦700の場合 B≧150、H>700の場合 B≧200

プレキャストU型側溝材料表 (1箇所当り)

名 称	規格	単位	数量	摘 要
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.02	
型 枠	小型	m ²	0.28	

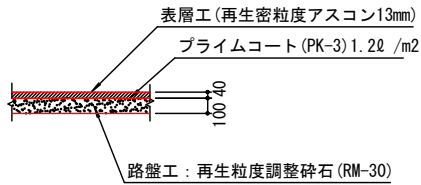
プレキャストU型側溝 S=1:25
(落ちふた式U型側溝3種)



プレキャストU型側溝材料表 (10.0m当り)

名 称	規格	単位	数量	摘 要
落ちふた式U形側溝	PU3-300A	個	-	別途計上
敷モルタル	1:3	m ³	0.108	
基礎砕石 (t=100)	RC-40	m ²	5.60	

アスファルト舗装復旧工

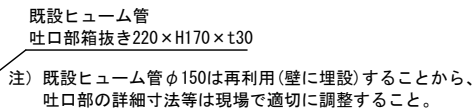
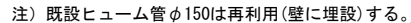


A3用紙出力時は50%縮小図面

図面番号	6 / 7	縮尺	図 示
工 種			
種 別	構 造 図 - 1	番 号	1 / 2
路線名	大蔵1号線（南工区）		
工事箇所	東広島市福富町上竹仁		
東広島市			

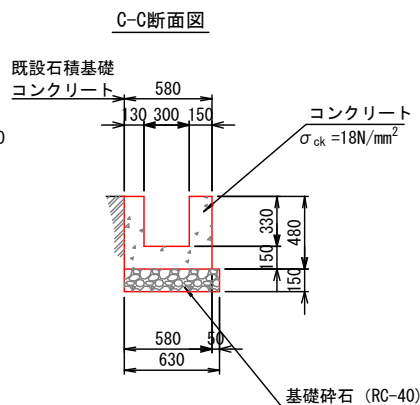
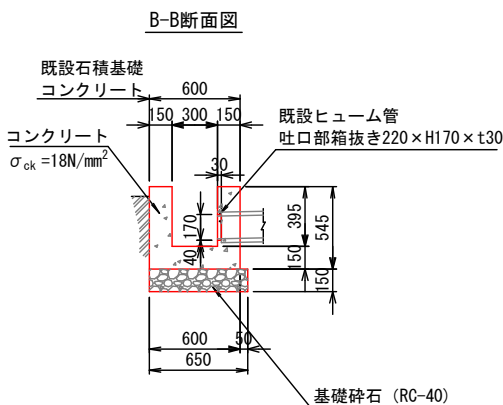
S=1 : 25

取水施設付近平面図

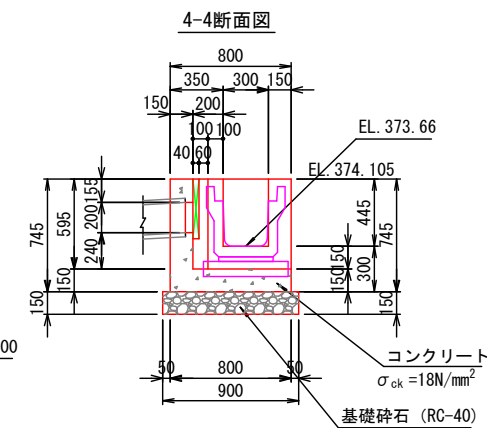
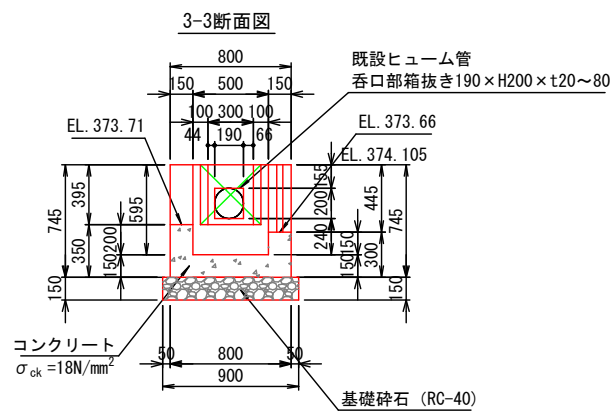
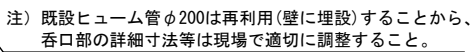


名 称	規格	単位	数量	摘 要
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.29	
型 枠	小型	m ²	3.03	
基礎砕石 (t=150)	RC-40	m ²	1.01	
角落し材	松板t25×380×395	枚	1.0	

注) 既設水路接続部で、既設石積基礎との取り合い箇所でもあることから
詳細寸法等は現場で適切に調整すること。



平面图



注) 既設ヒューム管φ200は再利用(壁に埋設)することから、
呑口部の詳細寸法等は現場で適切に調整すること。

名 称	規格	単位	数量	摘 要
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.30	
型 枠	小型	m ²	3.96	
基礎砕石 (t=150)	RC-40	m ²	0.81	
角落し材	松板t25×380×395	枚	1.0	

A3用紙出力時は50%縮小図面			
図面番号	7 / 7	縮尺	図 示
工 種			
種 別	構 造 図 - 2	番 号	2 / 2
路線名	大歳1号線（南工区）		
工事箇所	東広島市福富町上竹仁		
東広島市			

参 考 図 書

業務名称 ： 令和 8 年度 道路維持修繕事業
大歳 1 号線道路修繕工事

<注意事項>

- 1 本業務は、数量公開の対象業務です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

- 3 その他

・当該業務により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
砂・砂質土・礫質土	大地リサイクルセンター	東広島市福富町上戸野 1701	5.0km

・当該業務により発生する As 殻、CO 殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
コンクリート殻(無筋)	(有)ドイ産業 リサイクル施設	東広島市豊栄町安宿 273-3	13.7km
アスファルト殻	(有)ドイ産業 リサイクル施設	東広島市豊栄町安宿 273-3	13.7km

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 46 東広島市(福富) 00-08.07.01(0)		凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種	04 道路改良工事		
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)		
復興補正区分	00 補正なし		
週休補正区分	09 閉所型・月単位		
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし		
I C T補正区分	00 補正なし		
冬期補正係数	00 補正なし		
緊急工事区分	00 通常工事 0 %		
前払金支出割合区分	00 補正無し		
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
大歳1号線（北工区）					Y1G01 レベル1
道路土工	1	式			Y1G0102 レベル2
掘削工	1	式			Y1G010201 レベル3
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	1	式			Y1G01020101 レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	1	m3			SPK25040001 00
排水構造物工	1	m3			単第0 -0001 表 Y1G0104 レベル2
作業土工	1	式			Y1G010401 レベル3
床掘り 土砂	1	式			Y1G01040102 レベル4
	20	m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	20	m3			SPK25040015 00 単第0 -0002 表
埋戻し 土砂	10	m3			Y1G01040103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	10	m3			SPK25040020 00 単第0 -0003 表
処理土	20	m3			Y1G01040111レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離5.0km以下(4.0km超)	20	m3			SPK25040002 00 単第0 -0004 表
処理土	20	m3			F000000500 00 ;大地リサイクルセンター
土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	20	m3			Y1G01040111レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離5.0km以下(4.0km超)	20	m3			SPK25040002 00 単第0 -0004 表
残土等処分 砂・砂質土・礫質土	20	m3			Y1G01021003レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
建設発生土処分費 砂・砂質土・礫質土	20	m3			F000000100 00 ;大地リサイクルセンター
側溝工	1	式			Y1G010403 レベル3
プレキャストU型側溝 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種 300A[300×300×2000]	67	m			Y1G01040311レベル4
U型側溝 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種 300A[300×300×2000]	67	m			SDT00013 00 単第0 -0005 表
側溝蓋 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種ふた 300[412×95×500]	20	枚			Y1G01040314レベル4
蓋版 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種ふた 300[412×95×500]	20	枚			SDT00017 00 単第0 -0006 表
間詰コンクリート	1	式			Y1G01040314レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	1	m3			SPK25040157 00 単第0 -0007 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装工					Y1G0103 レベル2
	1	式			
舗装復旧工					Y1G010302 レベル3
	1	式			
不陸整正 補足材料無し					Y1G01030211 レベル4
	106	m2			
不陸整正 補足材料無し					SPK25040234 00
	106	m2			単第0 -0008 表
上層路盤 RM-30 t=10cm					Y1G01030208 レベル4
	21	m2			
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工					SPK25040237 00
	21	m2			単第0 -0009 表
表層 再生密粒度アスファルト混合物(13) t=4cm					Y1G01030211 レベル4
	127	m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚40mm					SPK25040244 00
	127	m2			単第0 -0010 表
構造物撤去工					Y1G0124 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工	1	式			Y1G012406 レベル3
コンクリート構造物取壊し 無筋構造物 機械施工	10	m3			Y1G01240601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	10	m3			SDT00031 00 単第0 -0011 表
舗装版切断 アスファルト舗装版	45	m			Y1G01240602 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	45	m			SPK25040307 00 単第0 -0012 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版	130	m2			Y1G01240603 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	130	m2			SPK25040306 00 単第0 -0013 表
運搬処理工	1	式			Y1G012416 レベル3
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし	10	m3			Y1G01241601 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	10	m3			SPK25040155 00 単第0 -0014 表
殻処分 コンクリート塊(無筋)	24	t			Y1G01241602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 コンクリート塊(無筋)	24	t			F000000200 00 ;(有)ドイ産業 リサイクル施設
殻運搬 舗装版破碎	5	m3			Y1G01030205レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離22.0km以下(11.5km超)	5	m3			SPK25040155 00 単第0 -0015 表
殻処分 アスファルト殻	12	t			Y1G01030206レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 アスファルト塊	12	t			F000000300 00 ;(有)ドイ産業 リサイクル施設

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y1G0126 レベル2
	1	式			
水替工					Y1G012606 レベル3
	1	式			
ポンプ排水 ポンプ設置・撤去含む					Y1G01260601 レベル4
	1	式			
ポンプ設置・撤去					SHD10037 00
	1	箇所			単第0 -0016 表
ポンプ運転 排水量_0以上120未満(m3/h) 全揚程_10m 作業時排水					S1050053 00
	4	日			単第0 -0018 表
交通管理工					Y1G012621 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G01262101 レベル4
	8	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	8	人			
大歳1号線（南工区）					Y1G01 レベル1
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水構造物工					Y1G0104 レベル2
	1	式			
法面整形工					Y1G010207 レベル3
	1	式			
法面整形(盛土部) 盛土部 法面締固め無し					Y1G01020702 レベル4
	10	m2			
法面整形 盛土部 法面締固め無し 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土					SPK25040025 00
	10	m2			単第0 -0021 表
作業土工					Y1G010401 レベル3
	1	式			
床掘り 土砂					Y1G01040102 レベル4
	30	m3			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)					SPK25040015 00
	30	m3			単第0 -0002 表
埋戻し 土砂					Y1G01040103 レベル4
	20	m3			
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)					SPK25040020 00
	20	m3			単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
処理土					Y1G01040111レベル4
	30	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離5.0km以下(4.0km超)					SPK25040002 00
	30	m3			単第0 -0004 表
処理土					F000000500 00
	30	m3			;大地リサイクルセンター
土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石混り土含む)					Y1G01040111レベル4
	30	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離5.0km以下(4.0km超)					SPK25040002 00
	30	m3			単第0 -0004 表
残土等処分 砂・砂質土・礫質土					Y1G01021003レベル4
	30	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設発生土処分費 砂・砂質土・礫質土					F000000100 00
	30	m3			;大地リサイクルセンター
側溝工					Y1G010403 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
プレキャストU型側溝 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種 300A[300×300×2000]	42	m			Y1G01040311レベル4
U型側溝 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種 300A[300×300×2000]	42	m			SDT00013 00 単第0 -0005 表
側溝蓋 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種ふた 300[412×95×500]	9	枚			Y1G01040314レベル4
蓋版 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種ふた 300[412×95×500]	9	枚			SDT00017 00 単第0 -0006 表
現場打集水桝工 18-8-20BB RC-40 t=15cm	1	箇所			Y1G01040314レベル4
現場打集水桝工 18-8-20BB RC-40 t=15cm	1	箇所			V000000100 00 単第0 -0022 表
現場打水路工 18-8-20BB RC-40 t=15cm	1	箇所			Y1G01040314レベル4
現場打水路工 18-8-20BB RC-40 t=15cm	1	箇所			V000000200 00 単第0 -0026 表
水路補強コンクリート 18-8-20BB	1	箇所			Y1G01040314レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水路補強コンクリート 18-8-20BB	1	箇所			V000000300 00 単第0 -0027 表
舗装工	1	式			Y1G0103 レベル2
舗装復旧工	1	式			Y1G010302 レベル3
上層路盤 RM-30 t=10cm	22	m2			Y1G01030208 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	22	m2			SPK25040237 00 単第0 -0009 表
表層 再生密粒度アスファルト混合物(13) t=4cm	22	m2			Y1G01030211 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚40mm	22	m2			SPK25040244 00 単第0 -0028 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0124 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G012406 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート構造物取壊し 無筋構造物 機械施工	7	m3			Y1G01240601レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	7	m3			SDT00031 00 単第0 -0011 表
舗装版切断 アスファルト舗装版	44	m			Y1G01240602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	44	m			SPK25040307 00 単第0 -0012 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版	22	m2			Y1G01240603レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	22	m2			SPK25040018 00 単第0 -0029 表
運搬処理工	1	式			Y1G012416 レベル3
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし	7	m3			Y1G01241601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし D1D区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	7	m3			SPK25040155 00 単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分 コンクリート塊（無筋）	17	t			Y1G01241602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 コンクリート塊（無筋）	17	t			F000000200 00 ;(有)ドイ産業 リサイクル施設
殻運搬 舗装版破砕	1	m3			Y1G01030205レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間無し 運搬距離17.0km以下(12.0km超)	1	m3			SPK25040155 00 単第0 -0030 表
殻処分 アスファルト殻	3	t			Y1G01030206レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 アスファルト塊	3	t			F000000300 00 ;(有)ドイ産業 リサイクル施設
仮設工	1	式			Y1G0126 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水替工					Y1G012606 レベル3
	1	式			
ポンプ排水 ポンプ設置・撤去含む					Y1G01260601レベル4
	1	式			
ポンプ設置・撤去					SHD10037 00
	1	箇所			単第0 -0016 表
ポンプ運転 排水量_0以上120未満(m3/h) 全揚程_10m 作業時排水					S1050053 00
	4	日			単第0 -0018 表
交通管理工					Y1G012621 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G01262101レベル4
	10	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	10	人			
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0017

[illegible]

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 26.01%

標準
労務構成比: 62.89%

SPK25040001
材料構成比: 11.10%

単第0 -0001 表
市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 1,241.00000

m3 当り
1,241.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0002 表

1
標準単価: m3 当り
2,247.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し
土砂

SPK25040020
上記以外(小規模)

単第0 -0003 表

1
標準単価:

m3 当り
4,063.80000

機械構成比: 8.87%

労務構成比: 87.15%

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0021

埋戻し

土砂

機械構成比: 8.87%

勞務構成比: 87.15%

上記以外(小規模)

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

單第0 -0003 表

1
標準単価：

m3 当り
4,063.80000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90% 材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間無し 距離5.0km以下(4.0km超)

単第0 -0004 表
1
標準単価: 1,906.50000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=23 距離5.0km以下(4.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0024

蓋版

SDT00017

單第0 -0006 表

落ちふた式U形側溝(JIS A 5372)3種ふた

$$300[412 \times 95 \times 500]$$

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0007 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 28.68% 材料構成比: 71.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 30,615.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

頁0 -0026

不陸整正
補足材料無し

SPK25040234

単第0 -0008 表

1

m2 当り

機械構成比: 21.58% 労務構成比: 71.86% 材料構成比: 6.56% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 174.53000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	17.28%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	2.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	2.14%		<賃>タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
運転手(特殊)	35.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	14.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	6.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0027

不陸整正
補足材料無し

SPK25040234

單第0 -0008 表

標準単価：¹

m2 当り
174.53000

機械構成比: 21.58% 勞務構成比: 71.86% 材料構成比: 6.56% 市場単価構成比: 0.00%

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0009 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比: 37.08%

材料構成比: 51.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

637.83000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<賃>タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0029

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0009 表

RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工 1 m2 当り
機械構成比: 11.57% 労務構成比: 37.08% 材料構成比: 51.35% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30～0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 RM-30 H=1 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0030

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0010 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.38%

労務構成比: 10.17%

材料構成比: 88.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.88%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0031

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0010 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.38%

労務構成比: 10.17%

材料構成比: 88.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	80.70%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.17%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=40 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0032

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0011 表

m3 当り

機械施工

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比: 15.05% 労務構成比: 58.43% 材料構成比: 26.52% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040307
アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0012 表
1 m 当り
標準単価: 700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0034

鋪裝版切断

SPK25040307

單第0 -0012 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

勞務構成比：

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

700.44000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比: 12.85% 労務構成比: 81.24% 材料構成比: 5.91% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 217.37000

SPK25040306 障害等無し 舗装版厚15cm以下

単第0 -0013 表 1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1 アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り			B=1 D=1 G=1 障害等無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)

単第0 -0014 表
1
標準単価: 2,106.50000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=50 運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 44.05%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離22.0km以下(11.5km超)
労務構成比: 39.87%

単第0 -0015 表
材料構成比: 16.08%

1
標準単価: 4,846.90000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=59 運搬距離22.0km以下(11.5km超)		

施工単価表

頁0 -0038

ポンプ設置・撤去

SHD10037

單第0 -0016 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

單第0 -0017 表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

ポンプ運転

S1050053

單第0 -0018 表

排水量 0以上120未満(m³/h)

全揚程 10m 作業時排水

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

建設用ポンプ(水中ポンプ)運転
口径200mm,揚程10m

S9000045

單第0 -0019 表

目 当り

11.0kw

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

機-16_発動発電機運転
ディーゼル45kVA

S9469
排出ガス対策型3次基準

單第0 -0020 表

1日目 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0043

法面整形 SPK25040025 単第0 -0021 表
 盛土部 法面締固め無し 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土
 機械構成比: 11.87% 労務構成比: 75.95% 材料構成比: 12.18% 市場単価構成比: 0.00% 1 m2 当り
 標準単価: 453.58000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	11.87%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	33.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	28.67%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	13.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.18%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			B=2 法面締固め無し D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土		

施工単価表

頁0 -0044

現場打集水枋工
18-8-20BB

V000000100

單第0 -0022 表

1 箇所 当り

RC-40 t=15cm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0045

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0023 表

小型構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.42%

労務構成比:

37.14%

材料構成比:

59.44%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

37,478.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.23%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	10.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	57.74%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0046

コンクリート

SPK25040157

单第0 -0023 表

小型構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.42%

勞務構成比：

37.14%

材料構成比: 59.44%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

37,478.00000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0024 表

1
標準単価:

m2 当り
9,147.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0048

基礎碎石

SPK25040034

単第0 -0025 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.04% 労務構成比:

74.10%

材料構成比: 20.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,335.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.01%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.95%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	16.17%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0049

基礎碎石

SPK25040034

單第0 -0025 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

機械構成比: 5.04% 労務構成比: 74.10%

材料構成比: 20.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：¹

m2 当り
1,335.60000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0050

現場打水路工
18-8-20BB

V000000200

單第0 -0026 表

1 箇所 当り

RC-40 t=15cm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0051

水路補強コンクリート
18-8-20BB

V000000300

單第0 -0027 表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0052

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK25040244

単第0 -0028 表

1層当り平均仕上厚40mm

1 m2 当り
標準単価： 1,912.70000

機械構成比： 1.62% 労務構成比： 14.97% 材料構成比： 83.41% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4～3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.04%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.21%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.19%		タイヤローラ 質量3～4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	3.49%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.41%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0053

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下
機械構成比: 1.62%

SPK25040244
1層当り平均仕上厚40mm
労務構成比: 14.97%

材料構成比: 83.41%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0028 表

1
標準単価:

m2 当り
1,912.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	76.32%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	6.78%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.28%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 C=7 G=2 I=1	平均幅員1.4m以上3.0m以下 再生密粒度アスファルト混合物(13) 小型車割増有 -(全ての費用)		B=40 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)					

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK25040018

単第0 -0029 表

1

m2 当り

機械構成比: 20.13% 労務構成比: 71.97% 材料構成比: 7.90% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,747.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 20.25%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離17.0km以下(12.0km超)
労務構成比: 71.03%

単第0 -0030 表
材料構成比: 8.72%

1
標準単価: 9,934.70000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=53 運搬距離17.0km以下(12.0km超)		

大歳1号線(北工区) 数量計算書

道路維持修繕事業

工 事 費 内 訳 表

大歳1号線(北工区)

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	計上数量	数量	摘 要
本工事費	道路土工							
	掘削工							
		掘削(土砂)	礫混じり土	礫質土	m3	1	1.3	
		残土処理	礫混じり土		m3	20	19.3	
		購入土	真砂土	ほぐし	m3	20	19.3	
	作業土工							
		床 掘	E(GF)	礫質土	m3	20	18.0	
		埋 戻	Fu(SF)	土砂	m3	10	14.5	
		基面整正	K	〃	m2	30	34.0	
	水路工							
		道路側溝	PU-3 300A		m	67	67.4	29.0+38.4
		道路側溝蓋	PU-3 300用	コンクリート 蓋L=0.5m/枚	枚	20	20.0	
		間詰コンクリート	Fu(mo)		m3	1	1.3	
	舗装工							
		舗装工	不陸整正		m2	106	106.3	
			上層路盤	t=10cm	m2	21	20.5	
			表層工	t=4cm	m2	127	126.8	
	構造物取壊工							
		舗装切断	t=15cm以下		m	45	45.1	
		舗装版取り壊し	As舗装版		m2	132	132.0	
		運搬処理工	As殻		m3	5	5.3	
		殻処分	As殻		t	12	12.4	
		Co取り壊し	コンクリート	無筋	m3	10	10.3	
		運搬処理工	Co殻	無筋	m3	10	10.3	
		殻処分	Co殻	無筋	t	24	24.2	

大歳1号線(北工区)

土量配分表

掘削土		
掘削	礫質土	1.3 m3
床掘	"	18.0 m3
計		19.3 m3

購入土		
再生土	地山換算	16.1 m3
"	ほぐし	19.3 m3

残土処理		
計	地山土量	19.3 m3

盛土		
土量変化率 0.90		
路床	B1	m3
路体	B2	m3
路肩	B3	m3
計		0.0 m3

埋戻土		
土量変化率 0.90		
埋戻	再生砂	14.5 m3

$$0.0 \times 0.90 = 0.0 \text{ m3}$$

$$16.1 \times 0.90 = 14.5 \text{ m3}$$

19.3 m3

大歳1号線(北工区)

道路土工

計算書

(1 / 8)

[illegible]

大歳1号線(北工区)

作業土工 (右側)

計 算 書

(2 / 8)

測 点	距 離	床掘E(GF)			埋戻Fu(mo)			埋戻Fu(SF)			基面整正K			摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
右側														
		0.3						0.3			0.5			
SECT,15.5	4.7	0.3	0.30	1.4				0.3	0.30	1.4	0.5	0.50	2.4	
SECT,22.2	6.7	0.3	0.30	2.0				0.3	0.30	2.0	0.5	0.50	3.4	
SECT,30.0	7.8	0.3	0.30	2.3				0.3	0.30	2.3	0.5	0.50	3.9	
SECT,47.7	17.7	0.2	0.25	4.4				0.3	0.30	5.3	0.5	0.50	8.9	
SECT,50.0	1.5	0.2	0.20	0.3				0.3	0.30	0.5	0.5	0.50	0.8	
合 計	38.4			10.4			0.0			11.5			19.4	

大歳1号線(北工区)

作業土工(左側)

計 算 書

(3 / 8)

測 点	距 離	床掘E(GF)			埋戻Fu(mo)			埋戻Fu(SF)			基面整正K			摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
左側														
SECT, 10.0														
SECT,15.5														
SECT,15.5														
SECT,15.5		0.2			0.00			0.1			0.5			
SECT,22.2	3.5	0.2	0.20	0.7	0.00	0.00	0.0	0.1	0.10	0.4	0.5	0.50	1.8	
SECT,30.0	7.8	0.2	0.20	1.6	0.05	0.03	0.2	0.1	0.10	0.8	0.5	0.50	3.9	
SECT,47.7	17.7	0.4	0.30	5.3	0.06	0.06	1.1	0.1	0.10	1.8	0.5	0.50	8.9	
合 計	29.0			7.6			1.3			3.0			14.6	

大歳1号線(北工区)

舗装工

計 算 書

(7 / 8)

測 点	距 離	不陸整正			上層路盤(t=10cm)			表層工(t=4cm)						摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT,10.0		3.30			0.30			3.30						
SECT,15.5	4.7	3.30	3.30	15.5	0.30	0.30	1.4	3.30	3.30	15.5				
	3.2	3.30	3.30	10.6	0.30	0.30	1.0	3.30	3.30	10.6				
		3.30			0.60			3.30						
SECT,22.2	3.5	3.30	3.30	11.6	0.60	0.60	2.1	3.30	3.30	11.6				
SECT,30.0	7.8	3.30	3.30	25.7	0.60	0.60	4.7	3.30	3.30	25.7				
SECT,47.7	17.7	3.30	3.30	58.4	0.60	0.60	10.6	3.30	3.30	58.4				
SECT,50.0	1.5	3.30	3.30	5.0	0.30	0.45	0.7	3.30	3.30	5.0				
				(20.5)										
合 計	38.4			106.3			20.5			126.8				

大歳1号線(北工区)

構造物とりこわし

計 算 書

(8 / 8)

測 点	距 離	As舗装剥取・撤去・処分						舗装切断			掘削C(Co)			摘 要
		幅 員	平均幅員	面 積	舗装厚	平均の 舗装厚	体 積	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0														
SECT, 6.0														
SECT,10.0		3.3			0.04					3.3	0.2			
SECT,15.5	4.7	3.3	3.30	15.5	0.04	0.04	0.62			4.7	0.2	0.20	0.9	
SECT,22.2	6.7	3.7	3.50	23.5	0.04	0.04	0.94			6.7	0.4	0.30	2.0	
SECT,30.0	7.8	3.4	3.55	27.7	0.04	0.04	1.11			7.8	0.3	0.35	2.7	
SECT,47.7	17.7	3.4	3.40	60.2	0.04	0.04	2.41			17.7	0.2	0.25	4.4	
SECT,50.0	1.5	3.4	3.40	5.1	0.04	0.04	0.20			1.5	0.2	0.20	0.3	
										3.4				
合 計	38.4			m2 132.0			m3 5.28			m 45.1			m3 10.3	
				搬出量	5.28m3 × 2.35t = 12.41t									

大歳1号線（南工区） 数量計算書

[illegible][illegible]

[illegible]

土工数量総括表

大歳排水路

[illegible]

土工計算書

種別：法面整形工
ブロック：法面整形工
区分：

細別／規格	算 式 / 図	数 量
法面整形 埋戻、機械、礫質土	別紙計算表より $A = 12.1\text{m}^2$	12.1 m^2

土工計算書

名 称：法面整形(埋戻)

測 点	距 離(m)	法 長(m)	平均法長(m)	面 積(m2)	摘 要
	—	0.0	—	—	
BC. 4	1.6	0.6	0.30	0.5	
NO. 1	5.5	0.6	0.60	3.3	
BC. 6	8.2	0.7	0.65	5.3	
	3.9	0.7	0.70	2.7	
	0.8	0.0	0.35	0.3	
小 計	20.0			12.1	
合 計	20.0			12.1	

土工計算書

種 別：残土処理工
ブロック：残土処理工
区 分：

細別／規格	算 式 / 図	数 量
残土処理 埋戻、礫質土	$V = 27.3\text{m}^3$	27.3 m^3

排水路改修工数量総括表

大歳排水路

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
排水路改修工						
	作業土工					
		床掘	オープン掘削，H≤5m，礫質土	m3	27.3	
		埋戻	種別D，礫質土	m3	22.7	
		基面整正		m2	25.1	
	現場打水路工 (集水榭工)					
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/m}^2$	m3	0.30	
		型枠	小型	m2	3.96	
		基礎碎石	RC-40 t=15cm	m2	0.81	
		角落し材	松板，t25×380×395	枚	1	
	現場打水路工 (取水施設)					
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/m}^2$	m3	0.29	
		型枠	小型	m2	3.03	

排水路改修工数量総括表

大歳排水路

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
		基礎碎石	RC-40 t=15cm	m2	1.01	
		角 落 し 材	松板, t25×380×395	枚	1	
	プレキャスト側溝工					
		落ち蓋式U型側溝	PU3型-300A	m	41.5	
		補強コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/m}^2$	m3	0.02	
		型 枠	小型	m2	0.28	
		側溝蓋	PU3型側溝用 40kg<W≤70kg	個	9	

排水路改修工計算書

種 別：作業土工
 ブロック：作業土工
 区 分：

細別／規格	算 式 / 図	数 量
床掘 オープン掘削, H ≤5m, 礫質土	別紙計算表より $V = 27.3\text{m}^3$	27.3 m3
埋戻 種別D, 礫質土	別紙計算表より $V = 22.7\text{m}^3$	22.7 m3
基面整正	PU3型区間 $A1 = 0.56 \times (11.5 + 30.0) = 23.24\text{m}^2$ 集水枥 $A2 = 0.90 \times 0.90 = 0.81\text{m}^2$ 取水施設 $A3 = 0.70 \times 0.56(L) + (0.65 + 0.63) \times 1/2 \times 0.96(L) = 1.00\text{m}^2$ 合計 $A = 23.24 + 0.81 + 1.00 = 25.05$	25.1 m2

土工計算書

大歳排水路

測 点	距 離(m)	床掘(礫質土):E (GF)			埋戻:Fu (D)						摘 要
		断面積 (m2)	平均断面積 (m2)	体 積 (m3)	断面積 (m2)	平均断面積 (m2)	体 積 (m3)				
BP.	—	0.6	—	—	0.5	—	—				
NO. 0+7. 0	7. 0	0.6	0.60	4. 2	0.5	0.50	3. 5				
BC. 4	7. 5	0.7	0.65	4. 9	0.6	0.55	4. 1				
NO. 1	5. 5	0.7	0.70	3. 9	0.6	0.60	3. 3				
BC. 6	8. 2	0.7	0.70	5. 7	0.6	0.60	4. 9				
BC. 8	5. 2	0.6	0.65	3. 4	0.5	0.55	2. 9				
SP. 8	3. 5	0.5	0.55	1. 9	0.4	0.45	1. 6				
EC. 8	3. 5	0.5	0.50	1. 8	0.4	0.40	1. 4				
EP	3. 4	0.4	0.45	1. 5	0.2	0.30	1. 0				
小 計	43.8			27.3			22.7				
合 計	43.8			27.3			22.7				

排水路改修工 計算書

種 別：集水桝工
 ブロック：集水桝工
 区 分：

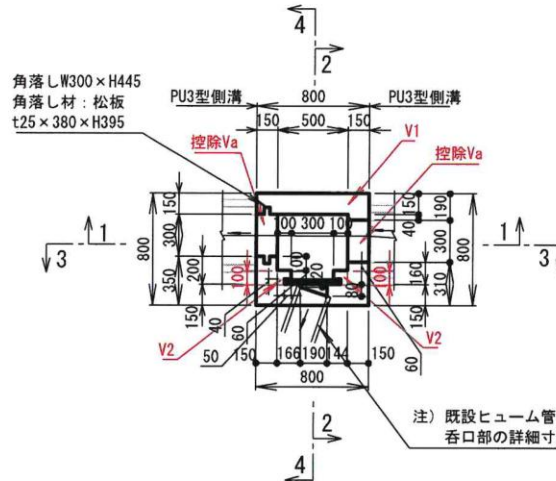
細別／規格	算 式 ／ 図	数 量
コンクリート σ ck=18N/mm2	側壁 V1 = $0.80 \times 0.80 \times 0.745 - 0.50 \times 0.50 \times 0.745 = 0.29\text{m}^3$ 側壁控除 Va = $-(0.30 \times 0.445 + 0.30 \times 0.395) \times 0.15$ $= -0.04\text{m}^3$ 角落し部 V2 = $0.10 \times 0.10 \times 0.745 \times 2\text{カ所} = 0.01\text{m}^3$ 底版 V3 = $0.50 \times 0.50 \times 0.15 = 0.04\text{m}^3$ コンクリート合計 $V = 0.29 - 0.04 + 0.01 + 0.04 = 0.30$	0.30 m3
型枠 小型	側壁外面 A1 = $0.80 \times 0.745 \times 4\text{面} = 2.38\text{m}^2$ 側壁内面 A2 = $0.50 \times 0.745 \times 4\text{面} = 1.49\text{m}^2$ 側壁控除 Aa = $-0.30 \times (0.445 + 0.395) \times 2\text{面} = -0.50\text{m}^2$ 側壁開口部 A3 = $0.15 \times 0.445 \times 2\text{面} + 0.15 \times 0.395 \times 2\text{面}$ $+ 0.15 \times 0.30 \times 2\text{カ所} = 0.34\text{m}^2$ 角落し部 A4 = $0.05 \times 0.395 \times 2\text{面} \times 2\text{カ所} = 0.08\text{m}^2$ 角落し部 A5 = $0.05 \times 0.445 \times 2\text{面} \times 2\text{カ所} = 0.09\text{m}^2$ 箱抜き A6 = $(0.02 + 0.08) \times 1/2 \times 0.19 \times 2\text{面} + (0.02 + 0.08)$ $\times 0.20 + 0.20 \times 0.20 = 0.08\text{m}^2$ 型枠合計 $A = 2.38 + 1.49 - 0.50 + 0.34 + 0.08 + 0.09 + 0.08 = 3.96$	3.96 m2
基礎碎石 RC-40 t=15cm	$A = 0.90 \times 0.90 = 0.81\text{m}^2$	0.81 m2
角落し材 松板t25×380 ×395	N = 1枚	1 枚

集水桝構造図

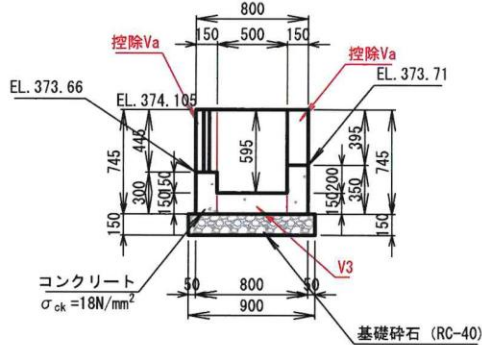
数量根拠図

コンクリート

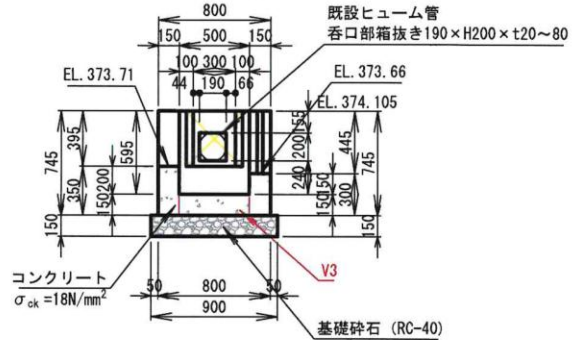
平面図



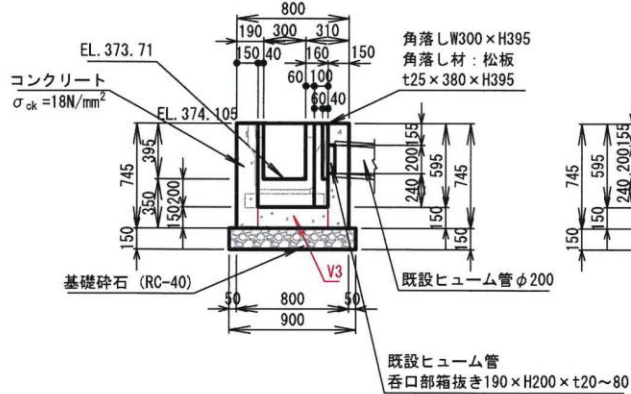
1-1断面図



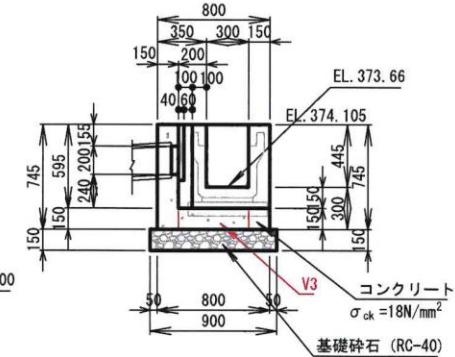
3-3断面図



2-2断面図



4-4断面図



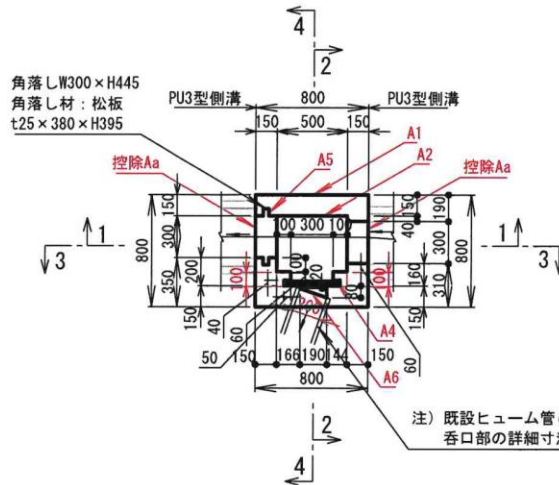
注) 既設ヒューム管φ200は再利用(壁に埋設)することから、
呑口部の詳細寸法等は現場で適切に調整すること。

集水桝構造図

数量根拠図

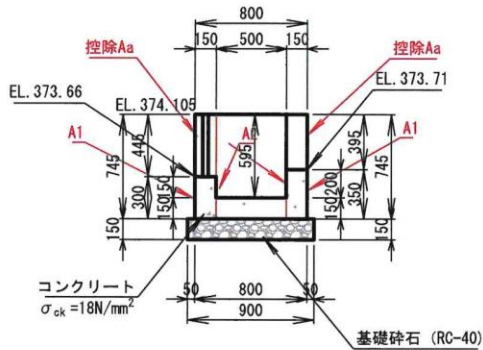
型 枠

平面図

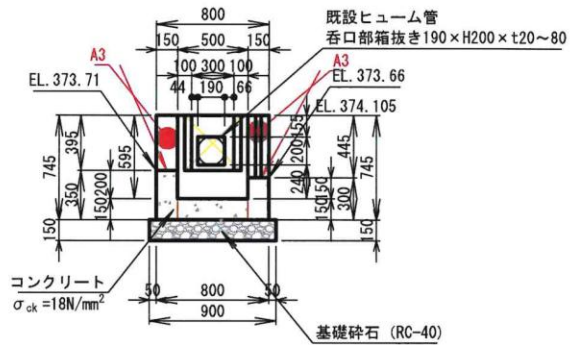


注) 既設ヒューム管φ200は再利用(壁に埋設)することから、
呑口部の詳細寸法等は現場で適切に調整すること。

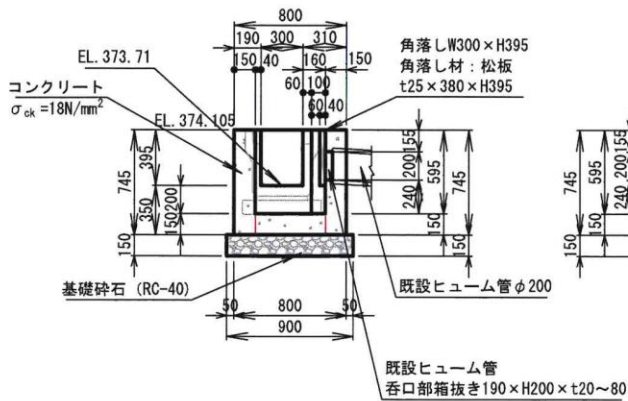
1-1断面図



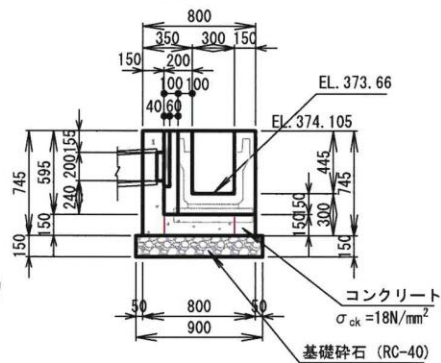
3-3断面図



2-2断面図



4-4断面図



注) 既設ヒューム管φ200は再利用(壁に埋設)することから、
呑口部の詳細寸法等は現場で適切に調整すること。

排水路改修工 計算書

種 別：取水施設
 ブロック：取水施設
 区 分：

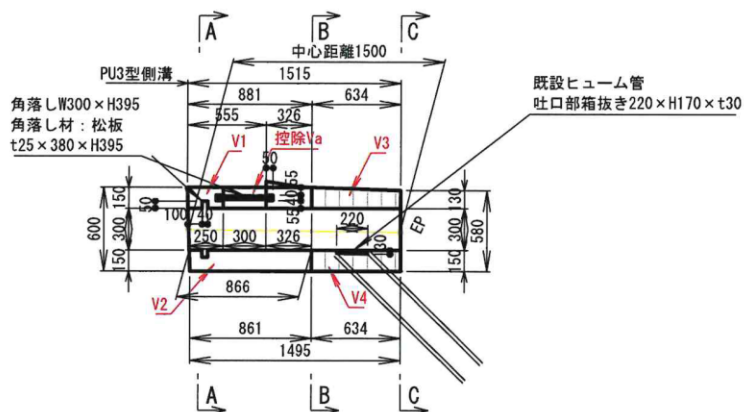
細別／規格	算 式 ／ 図	数 量
コンクリート σ ck=18N/mm2	側壁 V1 = $0.15 \times 0.545 \times 0.88 = 0.07\text{m}^3$ 側壁控除 Va = $-0.30 \times 0.15 \times 0.395 = -0.02\text{m}^2$ 側壁 V2 = $0.15 \times 0.545 \times 0.86(\text{平均L}) = 0.07\text{m}^3$ 側壁 V3 = $(0.15 \times 0.545 + 0.13 \times 0.48) \times 1/2 \times 0.63 = 0.05\text{m}^3$ 側壁 V4 = $0.15 \times (0.545 + 0.48) \times 1/2 \times 0.63 = 0.05\text{m}^3$ 底版 V5 = $0.30 \times 0.15 \times 1.50 = 0.07\text{m}^3$ コンクリート合計 $V = 0.07 - 0.02 + 0.07 + 0.05 + 0.05 + 0.07 = 0.29$	0.29 m3
型枠 小型	側壁内外面 A1 = $(0.56 + 0.04) \times 0.545 + 0.88 \times 0.545 = 0.81\text{m}^2$ 側壁内外面 A2 = $0.86(\text{平均L}) \times 0.545 \times 2\text{面} = 0.94\text{m}^2$ 側壁控除 Aa = $-0.30 \times 0.395 \times 2\text{面} = -0.24\text{m}^2$ 側壁内外面 A3 = $(0.545 + 0.48) \times 1/2 \times 0.63 \times 2\text{面} = 0.65\text{m}^2$ 側壁内面 A4 = $(0.545 + 0.48) \times 1/2 \times 0.63 = 0.32\text{m}^2$ 角落し部 A5 = $0.15 \times 0.395 \times 2\text{面} + 0.30 \times 0.15 = 0.16\text{m}^2$ 角落し部 A6 = $0.05 \times 2\text{面} \times 0.395 \times 4\text{カ所} = 0.16\text{m}^2$ 止め A7 = $0.60 \times 0.545 - 0.30 \times 0.395 = 0.21\text{m}^2$ 箱抜き A8 = $(0.17 + 0.22) \times 0.03 \times 2\text{面} = 0.02\text{m}^2$ 型枠合計 $A = 0.81 + 0.94 - 0.24 + 0.65 + 0.32 + 0.16 + 0.16 + 0.21 + 0.02 = 3.03$	3.03 m2
基礎碎石 RC-40 t=15cm	$A = 0.70 \times 0.56(\text{平均L}) + (0.65 + 0.63) \times 1/2 \times 0.96 = 1.01\text{m}^2$	1.01 m2
角落し材 松板t25×380 ×395	N = 1枚	1 枚

取水施設構造図

数量根拠図

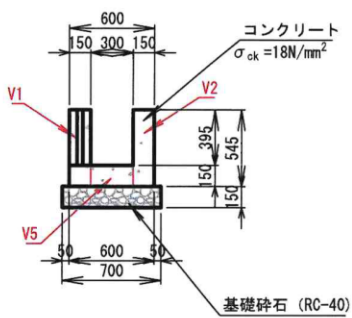
コンクリート

平面図

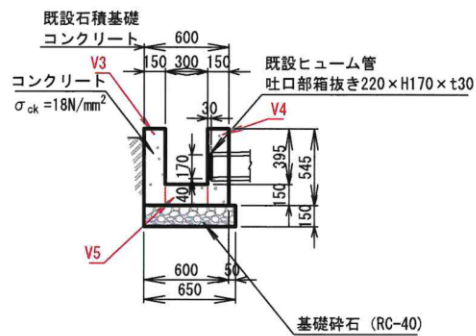


注) 既設水路接続部で、既設石積基礎との取り付け箇所でもあることから
詳細寸法等は現場で適切に調整すること。

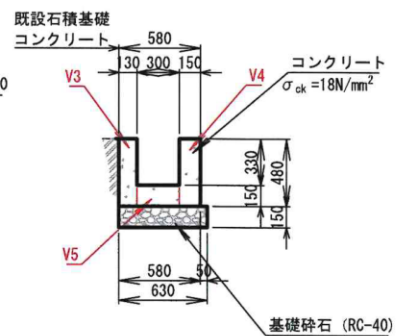
A-A断面図



B-B断面図

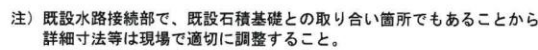


C-C断面図

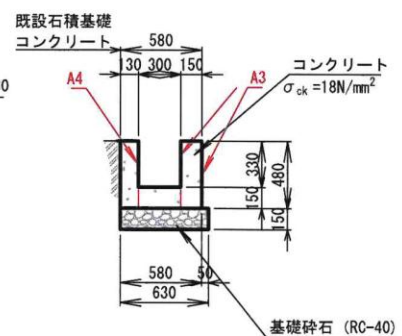


数量根拠図

平面图



C-C断面图



排水路改修工 計算書

種 別：プレキャスト側溝工
 ブロック：プレキャスト側溝工
 区 分：

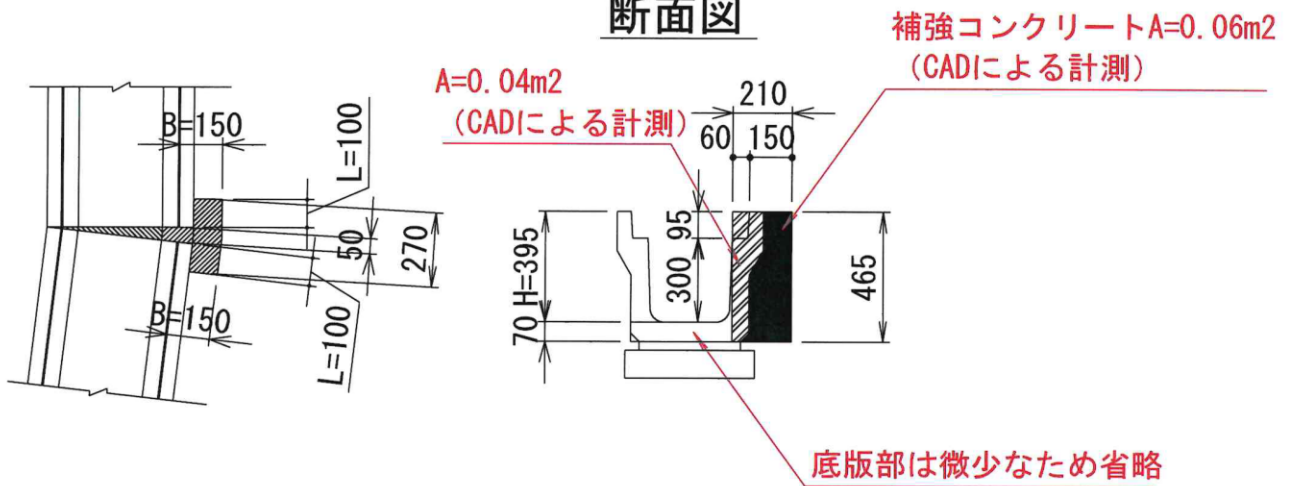
細別／規格	算 式 / 図	数 量
落ち蓋式U型側溝 PU3型-300A	$L = 11.5 + 30.0 = 41.5\text{m}$	41.5 m
補強コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$V = 0.06(A) \times 0.27 + 0.04(A) \times 0.05 = 0.018\text{m}^3$	0.02 m ³
型枠 小型	$A1 = 0.06(A) \times 2\text{面} + 0.27 \times 0.465 = 0.25\text{m}^2$ $A2 = 0.06(A) \times 0.095 \times 2\text{面} = 0.01\text{m}^2$ $A3 = 0.05 \times 0.395 = 0.02\text{m}^2$ 型枠合計 $A = 0.25 + 0.01 + 0.02 = 0.28$	0.28 m ²
側溝蓋 PU3型側溝用 40kg<W≤70kg	$N = 9\text{枚}$	9 枚

PU3型側溝補強コンクリート

数量根拠図

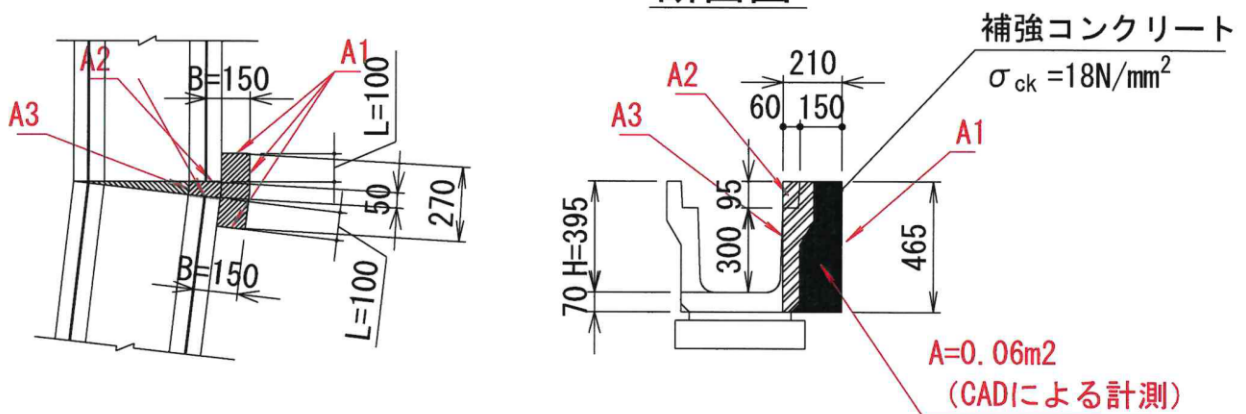
コンクリート

断面図



型 枠

断面図



舗装工数量総括表

大歲排水路

[illegible]

舗装工計算書

種 別：アスファルト舗装工
 ブロック：アスファルト舗装工
 区 分：

細別／規格	算 式 / 図	数 量
表層工 再生密粒度アスコン 13mm	別紙計算表より $A = 21.80\text{m}^2$	21.8 m2
路盤工 再生粒度調整碎石 (RM-30)	別紙計算表より $A = 21.80\text{m}^2$	21.8 m2

舗装工計算書

名 称：アスファルト舗装工

測 点	距 離(m)	舗装幅(m)	平均幅(m)	面 積(m2)	摘 要
BP.	—	0.5	—	—	
NO. 0+7.0	7.0	0.5	0.50	3.50	
BC. 4	7.5	0.5	0.50	3.75	
NO. 1	5.5	0.5	0.50	2.75	
BC. 6	8.2	0.5	0.50	4.10	
BC. 8	5.2	0.5	0.50	2.60	
SP. 8	3.4	0.5	0.50	1.70	
EC. 8	3.4	0.5	0.50	1.70	
EP.	3.4	0.5	0.50	1.70	
小 計	43.6			21.80	
合 計	43.6			21.80	

構造物撤去工数量総括表

大歲排水路

[illegible]

構造物撤去工計算書

種 別：構造物取壊し工
ブ ロ ッ ク：構造物取壊し工
区 分：

細別／規格	算 式 ／ 図	数 量
コンクリート取壊 無筋	別紙計算表より $V = 7.05\text{m}^3$	7.05 m ³
アスファルト切断 t=5cm（推定値）	別紙計算表より $L = 44.0\text{m}$	44.0 m
舗装版取壊し アスファルト	切断延長を利用する。 $L=44.0-0.50\times 2$ （端部控除） $=43.0\text{m}$ $A = 0.50$ （推定平均幅） $\times 43.0 = 21.5\text{m}^2$	21.50 m ³

構造物撤去工計算書

名 称：コンクリート取壊し工

測 点	距 離(m)	断面積(m2)	平均断面積(m2)	立積(m3)	摘 要
BP.	—	0.14	—	—	
NO. 0+7.0	7.0	0.17	0.155	1.09	
BC. 4	7.5	0.15	0.160	1.20	
NO. 1	5.5	0.15	0.150	0.83	
BC. 6	8.2	0.16	0.155	1.27	
BC. 8	5.2	0.15	0.155	0.81	
SP. 8	3.5	0.16	0.155	0.54	
EC. 8	3.5	0.16	0.160	0.56	
EP.	3.4	0.16	0.160	0.54	
側溝蓋					
	—	0.05	—	—	
BC. 8	0.5	0.05	0.050	0.03	
SP. 8	3.5	0.04	0.045	0.16	
	0.5	0.04	0.040	0.02	
小 計	48.3			7.05	
合 計	48.3			7.05	

延長調書

名 称：アスファルト切断

單位：m

測点	数量	摘要
	0.0	
BP.	0.5	
N0.0+7.0	7.0	
BC.4	7.4	
N0.1	5.5	
BC.6	8.1	
BC.8	5.2	
SP.8	3.2	
EC.8	3.2	
EP.	3.4	
	0.5	
小計	44.0	
合計	44.0	